



第52回

# 中学生 海の作文 コンクール

審査員の高田先生から次のとおり  
選評をいただきました。

母のところへ行くのが家族の習慣になっています。ところが福井県の穏やかな海を見て思い出す風景は、東日本大震災の津波の光景なのです。小学一年生のときテレビを通して見た光景が影響して、海が怖くなつたのです。それを克服できたのはある合宿に参加したからでした。ありふれた平凡なことを気付いた。いつも遊んでいたキラキラしたぼくの服は、そこにはもうなづらでました。

自分自身のことを素直に順序よく綴る文力が光ります。

五十二回を迎えた「中学生海の作文コンクール」は近畿各地の中学校十八校から三四点の応募があり、審査を高田文月先生(大阪文学学校講師)にお願いして、四十名の方々の入賞が決定しました。(敬称略)

金賞(近畿運輸局長賞)

鈴木 詩織 大津市立青山中学校三年

銀賞(近畿海事広報協会会長賞)

葛川壮之介 帝塚山中学校一年

上中 碧彩 田辺市立新庄中学校一年

原 匠生 大津市立青山中学校一年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

福井真奈加 近畿大学附属和歌山中学校三年

林奈那実 修輔 長岡京市立長岡中学校二年

山本 黒石 丹波市立長岡中学校二年

林黒石 仁木 愛里 丹波市立青山中学校二年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

佳作(近畿海事広報協会会長賞)

天野 勇汎 堺市立中百舌鳥中学校三年

仁木 愛里 田辺市立新庄中学校一年

柿庭優理亞 吹田市立第一中学校三年

志摩 那波 大津市立青山中学校三年

銀賞

き、最終的には海にたどりつけます。海に流されたゴミは海を汚します。浜にもゴミが流れつくかもしれません。私たちは、自分で大事です。拾ったゴミは、持ちかえるか、所定のゴミ箱にするといいそうです。「来たときより美しく」という言葉を忘れず、海がこれ以上汚れないようにしていくことが大切だと思いました。

二つ目は、日焼け止めです。海水浴に泳ぎに行く人は、日焼け止めで。海水を汚さないためには、オーバープルーフのものを使うといいです。海水を汚しているそうです。海水を汚さないためには、おちないのでいいです。これは、簡単にできます。これは、簡単で、おきることだと思います。ぜひ、呼びかけていきたいです。

三つ目は、生活排水の汚れを減らすことです。生活排水というのは、水洗トイレ、台所、風呂場、洗濯機などから流される、汚れた水のことです。

生活排水のうちで特に海を汚しているのは、台所から流される水で、汚れの原因の半分以上をしめているそうです。生活排水の汚れを少しでも減らすために、気をつけることを考えました。

飲みものは、飲みきれる分だけを入れて、飲みきる。お皿についてた汚れは、洗う前にふき取つて、流さないようになります。油は固めて燃えるゴミとして捨てる。食べ残しや食品のゴミを流さないようにする。

こうした小さな積み重ねが、海を綺麗にするための一歩になり

私は、学校の地域学  
で、ウニのくじょに行きました。ウニは、海そ  
うを食べます。そうする  
と、魚が卵を産む場所  
がなくなり、魚も減ります。  
私たちが、ウニを獲  
りに行つたのは七月頃  
ですが、ウニのくじょは  
年中行われているそ  
うです。更に、五月頃には  
いそみがきをしており  
いそをきれいにしてい  
ます。いそみがきをす  
ることで、海そうがは  
えやすくなるそうで  
す。ウニのくじょは、鉄  
をウニにさすのがむず  
かしかったです。でも  
ウニがとれた時の達成  
感がとてもあり、たの  
しきつたです。  
獲つたウニは、農家の  
肥料になるそうです。  
これ以上上海そうがへら  
ないよう、ウニをくじ  
ょしていけたらいいと  
思いました。  
海をいまよりももつ  
と良くするために、自  
分たちでできることを  
考え、実行できるよう  
にしていきたいです。  
一人ひとりの小さ  
な心がけが、美しい地  
球を作つて行きます。

銀賞

だして言つてしまつた。そこは僕が見たことのない光景だった。太陽の光が差し込んでサンゴ礁が宝石のようにキラキラしていて僕の目はとても大切な物を見つけてかのように輝いていた。僕、父、母、家族全員が感動していた。また、魚がたくさんいて一緒に行動していたのでダンスを踊っているように見えた。さらに角の背後には、サンゴ礁が広がっていて僕たちを歓迎しているのかのように感じた。僕はあまりの美しさに見とれてさらに先へと進んだ。すると、さつきとは全く違う別の場所に来たと感じた。そこに広がっていたのは、海の深くまで続いているサンゴ礁だった。とても深くて怖さもあつたが中々見ることができない海に気持ちがいつてしまふ。僕はとても興奮していました。僕は、海の美しさで人の心を動かすことができるということを学んだ。

二つ目に印象が残ったのは、バリ島の海でのシーウォーカーだ。僕はその時海に潜るのが初めてだった。潜る前は僕の心は、ドキドキと怖さが最上級に達した。一人ずつ入り、僕はダイバーさんと一緒に入るとそこはまるでボートが通りすぎた直後かのように、海の中は荒れていた。そこはだ小学生だった僕は海の恐ろしさを感じ、ダイバーサンにくつづいてしまった。それでも僕たちは前へ進み周りの景色を見て、いるひまもなかつた。僕は水面から上がり船に乗った時の怖さから解放感は今までで一番気持ち良かった。もし、あの時僕がダイバーさんと一緒に入らず、一人で入ついたら必ず僕は流され、死んでいた。僕は、潮流の流れが速い

銅賞

いた。潜つてみると波影響でにごついて、外の海に比べたら全違うということを感じた。しかし、このことはきれいではないけれど、迫力がありみんなを楽しませてくれる。日本海側の福井県の海は、とてもおだかで、岩の上から飛降りて楽しめるところもある。潜つてみると魚たちが、あらゆる方向に泳いでいて僕たちと同じように楽しんでいるように見えた。僕は、世界のたくさんの海を潜つてそれと同様魅力があるということを学んだ。

僕は、世界のたくさんの海を潜つてそれと同様魅力があるということを学び、海といふものメリットがたくさんあること。また、僕知らなかつたことを学ぶ。僕はこれら人間にとってどれがけ重要なのかを理解した。そして僕はこれから大人になつても世界の美しい海へ行く新しい発見などをします。

僕の住んでいる和歌山県和歌山市には新鐵住金という大きな鉄所があります。これは原料となる鉄鉱石炭、石灰石から鉄作り、いろいろな工程経て石油や天然ガス開発に利用されるパープが製品としてつくられています。これらの原料や製品はどのようにして製鉄所へ、または、鉄所から輸送されているのでしょうか。

今回は海運業界に係している父に、製鉄と海運の関係について話を聞きました。鉄の原料、特に鉄石や石灰は産出量や

掘コストの問題があるため、そのほとんどが外からの輸入に頼ります。主な产地はオーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、アメリカなどです。それらの理由は、産出国一度に沢山運ぶため鐵陸統きでないため鐵（海運）だけになります。その理由は、産出国に沢山の原料を運ぶことができず費用も高くあります。鉄鉱石や石灰を大積み貯物船」と呼ばれます。原料は産出国ばら積み貯物船へとみこまれ、数日一ヶ月の航海を経て日本の製鉄所に届けられます。日本に到着した物船は製鉄所専用の「ミルポート」に到着します。ここで荷役(にこ)と呼ばれる作業を行われ、原料は貨物船から製鉄所に移されます。最初のよう新日本和歌山製鉄所で原料から作られた鉄さに加工され、つな目のないパイプがつくれていきます。これらパイプは主に岩を掘った石油をとつたり輸送したり、天然ガス開発のために作られています。パイプは国源の少ない日本では、石油や天然ガスが原料同じくほとんど産出がないため、パイプがつくれていきます。これらパイプは主に岩を掘った石油をとつたり輸送したり、天然ガス開発のために作られています。石油や天然ガス産出する主な国はアフリカ、中東諸国、ロシア、中国などがあります。石油や天然ガスは製鉄所で製品へ生まれ変わり、再び乗つて海を渡るになります。完成したパイプは鉄所の敷地内にあります。製造工場からミルポートへ運搬されます。そこで貨物船に積みまれ、数日～数ヶ月かけて産油国へと輸送されます。

古賀  
銅賞

うに海運は製鉄所密接な関係があり、料の輸入、製品の輸出どちらにも欠かせない重要な輸送手段とついています。どんなに輸送手段と比べても大量に運ぶ事ができる事ができないので、輸送手段がなければ使用できません。今回も輸送手段で輸入されているのか、輸入されたりました。和歌山の港からはこの輸入される事になります。今日は海運のことについて調べましたが、歌山の港からはこの輸入されたりました。和歌山の港の貿易のことについて、もっとくわしく知りたいと思いました。今回機会を利用して、父の仕事を知ることができます。たのを嬉しく思いました。

# 銅賞

この辺りの海では、イサキ・マダイ・オオモンハタ・カツオなどがいました。父に聞くと、春にはアオリイカ・マダイ、カツオなどの魚がつれます。夏は、ケンサキイカ(アカイカ)・イサキ・サバなどが、秋は、ネザカナ(オオモンハタ・アカハタ・アオハタ・マバタなどの魚)やカツオなどの魚などが、冬は、ブリ・アジ・アオリイカなどの魚がよくつれるそうです。

私は、父の船に乗ってイカつりをしたことがあります。そのとき、船の光がまぶしすぎて目をあけるのがつらかったです。でも、「こんなにも、電気つける必要ある?」と聞いてみると、「イカは、光があるところに集まるしゅうせいがあるから、電気を大量につけるんだよ。でもカメムシがいっぱいいるから最悪なんだけどね。」と笑つて答えてくれました。

私は海が大好きです。ですが、海のことをこれで当然というようなかたちで見ていたので、このような、島にある岩のたちは、たちや浜辺のちがいにまったく気付くことができませんでした。

私は、私が産まれる前からあります。それは、私の名前に「海」が入っています。私たちも身近なものであります。でも大切な宝物です。私は、常に海に囲まれ、海と共に育つてきました。

私は、私が産まれる前からあります。それは、私の名前に「海」が入っています。母が、私を産む当日に白浜で見た海と、そのとき感じた風にちなんで、「風

海」と名付けてくれました。もしも私が、海が身近にない場所で産まれていたら、名前に「海」は入つていなかつたかも知れません。だからこの名前は、私が、海が身近にある和歌山県で産まれたという証です。私にとつて名前は、和歌山県や海と同様、宝物です。なぜなら、名前は、親から子への一番の愛がこもつた贈り物だと思うからです。私が、こんな素敵な名前を付けてくれた母に感謝の気持ちでいっぱいです。一生付き合っていくには、他にもあります。例えば、私の祖父は釣りが趣味で、海から様々な魚をたくさん釣つてくれるます。その魚を、祖母が、刺身やフライ、天ぷらなどにしてくれます。私は幼い頃から、それらをほぼ毎日のように食べてきました。この習慣は十年以上続いているおり、おそらく他の子どもたちよりも、多くの種類の魚や様々な魚料理を食べてきています。祖母と、その魚をおいしく料理してくれる祖母、そして私たち家族の為に魚を釣つてきてくれる祖父と、海の魚たちによる恵みのおかげです。私は現在に至るまで、私たちは、手間暇かけて私たち人間の食の支えとなる魚に対し、感謝の気持ちを持つて食べてきました。そしてこれからも、人間と海との関わりを大切にし、命をいに感じ、心から感謝して魚を食べていきます。始めとする命の重みについて学んでほしいです、

害を受けました。そこで、防災をテーマにした学習、いわゆる新庄地震学が始まったのです。これも、津波、つまり海に関わることです。この地震学では三年生が中心に地震や津波、防災について学び、文化祭で発表するのが毎年恒例になっています。この恒例行事は、津波の被害を受けた地域だからこそ、始めるきっかけができ、現在に至るまで続けることができます。これまで続いているのだと思います。過去の経験からの教訓を未来へ受け継いでいく。その重大な役割を、今私たちは担っています。その役割を存分に果たせるよう、これからも精一杯取り組んでいきたいです。

と同じようにカスタマイズして、オリジナルのバットも作れるそうですが、お姉ちゃんも免許を持って自分で運転できるようになつて1人で乗つてスピードを出して、気持ちよさそうに風を切つて広い海の上を走っている所を見ている私も早く免許とつて自分で運転できるようになつて海の上を走りたいと思つて、すごく興味があるみたいという人は、わざわざ自分の船を買わなくとも、レンタルで借りて乗つてスピードを出したり、魚釣りやクルージングをしてたくて船に乗るみたいという人が、マリーナ約百四ヶ所で船を借りることができ、今ではハワイでどの海外でも船を借りることができるそうです。

船の運転は初心者でも楽しめる旅行に行くと渋滞などがあります。車で行くと渋滞など引つかかってしまう可能性もあることがあるかもしれません。けれど、船の場合渋滞の心配もなく、目的地に着くことができます。

ジエットスキーでレースをするときも、とても走ります。長い間、全国で開催されています。レースの種目はたくさんあります。例えば、技を見せる、競うものや、時間内にコースを何周回れるかを競うものもあります。

私は実際にレースを見たことはないけれど、お父さんがたくさんしているので、いつかお父さんが出場しているレースを見に行きたいと思っています。レースはジエットキーだけではなく、お父さんがたくさんいるので、いつかお父さんと一緒に船で出船して、ヨットナメントといふものもあります。

名な大会では日本中からクルーザーがたくさん集まり、早朝から開催されたりします。この作文を書くたまにお姉ちゃんやお母さんに話を聞いて初めて知ったことがたくさんありました。海の仕事について、また一段と興味が湧きました。

吹田市立第一中学校三年 柿窪優理

私がこの前見た某種画サイトで、とても感動したある話を紹介したい。

これは日本人なら誰もが忘れられない悲劇の日、そう、東日本大震災のあの日、あの時の話である。

宮城県在住の横山亮夫さんは、自身がとても大切にしていた「ハーレーダビッドソン」「ナントトレイン」というバイクも津波に流れてしまった。

しかし、コンテナごと津波に流されたバイクとは、なんと六千五百人も離れたカナダ・ブリティッシュコロンビア州のグレアム島で見つかった。バイクを発見したピーター・マイクさんはテレビ局にコントакトをとり、横山さんが持ち主でないことを突きとめるところを突きとめるところを突きとめた。

そして、このバイクのことを知った、ハーレーダビッドソン社は横山さんに連絡した。

「あなたのバイクが、ソン社の親切な計りに対し、横山さんは修理してお送りしますよ。」

見つかった報告だけではなく、修理まで申出たハーレーダビッドソン社の親切な計りに対し、横山さんは修理してお送りしますよ。

私はこの夏、受験生という重荷を背負いたがら沖縄に向かった。先生の分岐点を前に一休み私は沖縄で何をしていたのか。「蟄疲れたらちょっと沖縄まで…」これほど軽い気持ちで行つたわけではないが、全否定できない私がいるのも現実である。最も滋賀県在住のしらけから目を背け飛行機に乗ることが、このよう

音のようすを地図のように表したものだ。このようにサウンドマップを作ることで動物たちのコミュニケーションを知ることができ、より深く自然を理解できるのだ。

木道で聞こえた音は、風や波の自然が出大きいく三つに分類ができる。一つは、鳥の鳴き声などの動物の音。二つは、風や波の自然が出る大地の音。三つは、車や私たち人間の音。この三つの音のうち木道では、番多く聞こえた音は予想外だが動物の音だった。

次にサウンドマップを作った場所は、生い茂ったマンゴロープの森の中にひつそりだが存在感を放つ大きな岩だ。地元の人はその岩をチーヤと呼び特別な場所として大切にしているそうだ。なんでも、昔はつなぎロープ森がこの場所に生えないほどに水が満ちていてチーヤは水上にひょっこり頭を出している岩だった。どうだ環境の変化は音を聞くだけでも著しく、木道のようすに動物の音がぎやかに奏でられておらず、岩の上だから遠くの人間の音が近くで聞こえる動物の音が小さくなっている。この部分からなかつた都会の中の自然の小ささや無力さが聞こえたようであつた。

漫湖は現在陸化が進み昔のように水鳥が休みめる場所が少なくなっている。このような環境になつたのも少なからず人間の生活が昔と大きく変わった時代の力が影響しているのだと。昔のように自然の大切さを伝える職員の方々のようには、も人に森で聞く水や鳥の声、木々と波の重なり今回の活動で聞いた音を誰かに伝えてみたいものである。

音という時間と共に流れゆくものに相点をおくことで、今聞こえる音や目に見える未来に残るのだろうか